

内容 (参考)

no. 4

## アオモジ

科名 クスノキ科  
 学名 *Litsea citriodora* (Sieb. et Zucc.) Hatusima  
 花期 3~4月  
 分布 国内：本州（五畿以西）、四国、九州、沖縄  
 県内：各地

高さ3~7mの落葉小高木。伐採跡地や林縁部など、日当たりの良いところに生える。もともとは長崎市周辺を含む九州の西側が分布の中心であったが、近年、分布域が拡大傾向にあり、大阪や奈良からも報告がある。長崎地方では卒業式の前後に枝先に無数の淡黄色の小花を付けることから卒業花とも呼ばれる。雌雄異株で、雄株の方が雌株より花が大きく花付きもよい。アオモジの名は同じクスノキ科で爪楊枝の材料とされるクロモジに対して付けられた名で小枝が緑色をしていることによる。なお、この種物は花だけでなく、腕依に葉が黄色に色づくさまも美しい。



アオモジの黄葉 (島原市四日山)

no. 5

## ナンバンキブシ

科名 キブシ科  
 学名 *Stachyurus praecox* Sieb. et Zucc. var. *lanclous* (Koidz.) Hara  
 花期 3~4月  
 分布 国内：本州、四国、九州、沖縄  
 県内：各地

高さ3~5m、雌雄異株の落葉低木。葉が茂っている時は特別目立たない植物であるが、早春、丸みを帯びた黄色の花が枝から下がった様子も極めて特徴的で、他の植物と容易に区別できる。この植物は雄と雌が別々の株で、花のあと雌花の方には種子をつける。長崎の川野には常緑広葉樹が多く比較的季节感に乏しいと言われるが、アオモジとこのナンバンキブシの花は長崎に春の訪れを感じさせてくれる。



長崎県野の花百選

no. 28

## シロドウダン

科名 ツツジ科  
 学名 *Enkianthus cernuus* (Sieb. et Zucc.) Makino f. *cernuus*  
 花期 5~6月  
 国内：本州、四国、九州  
 県内：熊本県

高さ2mほどになるツツジ科の落葉低木。雲仙の地獄川辺に多い。雲仙では同じツツジ科でもミヤマキリシマの方がよく知られているが、これほどの広がりや密度の高いシロドウダンの群落は外にはない。それ故、国の天然記念物にも指定されている。なおシロドウダンはツツジの仲間ではあるが、ミヤマキリシマと異なり形が球型を呈し花の色も白色。



雲仙地獄 (熊本県小浜町雲仙)

no. 29

## カキツバタ

科名 アヤメ科  
 学名 *Iris laevigata* Fisch.  
 花期 5~6月  
 国内：北海道、本州、四国、九州  
 県内：雲仙

湿地に生育する多年草。葉は細長く(長さ30~70cm、幅2~3cm)、先は尖る。この葉には中脈がなく(中央部は柔らかく盛り上がらない)、このことがノハナショウブ(ハナショウブの原種)やアヤメとの区別点になる。花の色はふつう青紫色で、稀に白色もある。また、外側の花(外花被片)は重れ、中央部から基部にかけて白~淡黄色の斑紋がある。

和名のカキツバタは「書き付け花」の転訛といわれる。書き付け花とは、昔、この花の汁を右にこすりつけて染めた行幸があったことに由来する。



雲仙地獄の花百選